

## 第4回東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会議事概要

- 日時：平成31年3月14日（木）午後7時～8時
- 場所：東淀川区役所出張所 3階 多目的室

### 1 開会

### 2 区長あいさつ

### 3 議題

- (1) 平成30年度活動報告について
- (2) 平成31年度活動予定について

### 4 情報提供

阪急淡路駅東口駅前広場における自転車駐車場の管理運營業務委託受注者選定結果について

### 5 その他（意見交換）

#### ○意見交換要旨

#### 議題1. 平成30年度活動報告について

##### （事務局）

- 配布資料「第4回東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会資料」P1～P20を説明
- 配布資料「第3回新大阪駅東口まちづくり部会資料」を説明

##### 【質疑応答】

##### （各委員）

- 質疑応答なし。

##### （久教授）

- 第4回協議会資料の1ページの表からも分かるように部会員の方には積極的に動いていただいた。
- 昨年度にまちづくりの構想が策定され、各地域でアクションプランを作成するため議論を進めて頂いている。
- 各地域でアクションプランとは別に保健福祉計画の作成も進められているが、別個で作成するのではなく同時並行で後戻りのないよう進めて頂きたい。
- アクションプランの作成進行には地域の状況により差がでてくると思う。しかし拙速にまとめる必要は無い。各地域の状況に合わせて時間をかけて良いものを作って貰いたいと思う。
- まちづくり構想部会にて地域間で情報交換を行い、各地域の上手くいっている部分等を共有し、学び合いも進められている。

#### 議題2. 平成31年度活動予定について

##### （事務局）

- 配布資料「第4回東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会資料」P21を説明

##### 【質疑応答】

##### （地域委員・部会員）

- 昨年1年間多くの部会員から意見を頂き、計画がまとまってきている実感がある。

### **(地域委員・部会員)**

- 都市再生緊急整備地域の候補地になって地域が大きく変化する。できる限り地域と区役所が一体となり今後のまちづくりを進めていきたい。国の動き、大阪市の動きとも連携を取っていきたい。
- 新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会の構成員に東淀川区も入って貰いたい。東淀川区役所だけでなくまちづくり委員会も構成員に入れて貰いたい。
- 行政だけで進めるのではなく、地元と連携を取りながら進めるのがこれからのまちづくりのキーワードだと思っている。
- 国が支援することを条件に多くの民間企業を誘致しようとしている。ここで地元の意見を発信し、地元の提案を取り入れて貰いたいと思っている。
- 新しいものを拒否するつもりはなく、新しいものと昔からある文化、歴史等と調和するようなまちづくりを一緒にしていきたい。
- 情報共有と地元住民の意見を発信できようにして貰いたい。

### **(東淀川区役所)**

- 3月にあった都市経済委員会の中でも、新大阪駅東口まちづくり部会等の協議会でこれまでしてきた議論を積み上げて、新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会に地域の意見として発信して貰いたいと要望が出ている。
- 地域委員が仰っていたように我々区役所の人間は、地元の意見を新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会等に持ち上げる役目がある。窓口である都市計画局に今日の意見も含めて伝えていきたいと思っている。
- 北陸新幹線やリニア等が新大阪駅のどこにどのように入るかはまだ決まっていない。我々が議論を先行し、意見を反映させなければならないと思っている。
- どういったことが不安なのか、どうすれば払拭できるのかと議論していきたい。

### **(会長)**

- 新大阪駅東口は淀川区側と比べて余り発展していないのは事実であり、発展させていく最後のチャンスかもしれないと思っている。
- 阪急電鉄株式会社の高架や歌島豊里線が完成すると、東淀川区も大きく変わってくると思う。相互に見ながらまちづくりを進めていきたい。

## **情報提供**

### **(事務局)**

- 阪急淡路駅東口駅前広場における自転車駐車場の管理運営業務委託の選定の結果、サイパーキング株式会社が選定された。開業に向けて関係機関と調整を行っている。開業日等決まり次第情報提供する。

### **(東淀川区役所)**

- 自転車駐車場を3月中に開業できなかった。自転車駐車場の開業は遅れたが、以前から計画していた放置自転車撤去の強化や啓発について取り組みを実施した。これは建設局とも相談し、1週間連続した放置自転車撤去の強化を行った。通常午前8時半から午前9時に撤去を1回行うが、強化期間は午前11時からもう1回撤去を行った。

- 朝の間はこの効果があったように感じた。しかし夜の放置自転車は多いままである。今後有料化に向けて、建設局や都市整備局と調整しながら啓発や撤去の強化を続けていきたいと思っている。

#### **意見交換**

##### **(地域委員・部会員)**

- 自転車駐車場の開業や撤去の強化で自転車問題を解決できるのか。新たに設けられるスペースよりも自転車の数が多いと予想している。今までのように有料化されたスペースの周辺に駐輪されるだけではないのかと危惧している。

##### **(東淀川区役所)**

- 駐輪場が足りていないこと、高架化事業との関係で更に自転車駐車場のスペースが減っている状況は理解している。今回の駅前広場の自転車駐車場を設置する時に、地域の住民から厳しい意見も頂いた。しかしそのまま放置すると今以上に危険な状態になる。そのため建設局とも調整し駅前広場に自転車駐車場を設置し、有料化を行うことにした。危惧されている部分については阪急電鉄株式会社の協力が不可欠だが、高架化の事業が進めば今工事で使用しているスペースが使えるようになる。また高架が完成すれば高架の下などに駐輪場を設置したいと考えている。高架化の工事が途中の今が一番厳しい状況であると考えている。また違法駐輪を減らすための啓発についても強化していきたい。

##### **(会長)**

- 駐輪対策は啓発、撤去、駐輪場の設置の3点である。駐輪場の設置は違法駐輪されている台数以上設置しないと撤去をしてもたちごっこになる。高架化が進む中で皆様に協力して頂きながら淡路駅が綺麗になるように努力していきたい。

##### **(地域委員・部会員)**

- 大阪外環状鉄道株式会社は自転車の駐輪問題について何か考えはあるのか？

##### **(大阪外環状鉄道株式会社)**

- 駅舎の工事で生み出された用地については極力駐輪場に充てている。事業者に委託し300台前後規模の駐輪場を運営して貰っている。

##### **(地域委員・部会員)**

- 大阪東線の開通に伴い阪急淡路駅の周辺環境がより悪化するのではないかと危惧している。先ほどの駐輪場等について広告や宣伝等を行っているのか。

##### **(大阪外環状鉄道株式会社)**

- インターネットでの告知等は当社では行っていない。駅の周辺や、駐輪場付近では駐輪場の場所、16日から開業すること、料金等の案内はしている。

### **(地域委員・部会員)**

- 地域の住民と阪急電鉄株式会社等と自転車問題等について直接話し合い等ができる場を設けて貰うことはできないのか。この場でそういった提案はできないのか。

### **(東淀川区役所)**

- 各地域でアクションプランを作成するため、課題の抽出や課題の解決策等について議論をしている。その中で駐輪問題の話ができれば、関係している会社に協力して貰い話し合いの場を設けることはできる。この場でも提案して頂きたい。
- 今、公表できる部分をこの場で発言して頂きたい。

### **(阪急電鉄株式会社)**

- 高架下の施設は駅舎や変電所といった鉄道に必要な施設しか確定していない。高架化の切り替えが近づいてきたら行政や建設局と共に高架下の施設について検討する予定である。大規模な駐輪場が必要なことは我々も理解している。現在すぐに設置するとなれば工事ヤード内となるが、ヤード内は危険であり広いスペースを取ることは難しい。

### **(久教授)**

- 複数の計画が今後も東淀川区で動いていく。これらを別個で進めるのではなく相互に連携を取り全体像を描いていくことが重要。
- 昨年度作成した構想が根本である。各地域では構想実現のためのアクションプランの作成、アクションプランに基づく地域活動を行って頂きたい。事業者の皆様にはこの構想に基づいて計画を進めて頂きたい。
- 来年度に地域のアクションプランが作成されるが、これまでの地域の活動と別個に作成するのではなく、今までの活動を体系化することで作成して頂きたいと思う。新たな活動を展開する必要はなく、これまでの活動を継承しながらアクションプランや保健福祉計画に体系化できるのが理想である。
- グローバルとローカルの整合性を取って頂きたい。構想の大きな柱として普段暮らしというワードがあるように暮らし方を重要視している。今までの地域の暮らしと新たなビジネスとの整合性も取って頂きたい。
- これまでの大きなビルを建ててそこから展開するというまちづくりではなく、地域の歴史、個性を大事にしながらグローバルに繋げて頂きたい。
- ヨーロッパのイギリス、ドイツ、デンマークの駅前の再開発を参考にしてもらいたい。駅前に非常に大きな広場を作ってその周辺にビルを配置するといった、歴史性を活かしながら新たな機能を入れ都市デザイン的にも綺麗なデザインとなっている。
- 大きな計画が動くことで周辺の地価が上がることもある。その結果元々の住民が追い出されるようなことが無いように進めて貰いたい。

➤

### **(会長)**

- 久教授にこれまで積み上げてきたものを活かす、グローバルとローカルを調和させる、地元視点普段暮らしを大切にする、この3つが重要だとまとめていただいた。
- 地域の皆様、事業者の皆様が集まっているこの場で議論を続けながらより良い地域にしていきたい。